

新市庁舎建設に取り組んでいます

・フロントプロジェクト2

◆新市庁舎の特徴

- 第1庁舎から第5庁舎、保健福祉センター、教育センターの7つの庁舎を集約する他、市民利用が多い窓口を低層階に設置します。これにより、今まで市役所を訪れた際の煩わしかった移動の手間が省けます
- プライバシーに配慮し、各窓口にパネルを設置する他、個室の相談室を各階に設置します
- 1階に市民利用スペース（みんなのホール）を設置し、正面入口前の屋根のある広場や庁舎東側の緑地と一体的に利用することができます



窓口イメージ



1階ロビー/みんなのホールイメージ

- ベビールーム（授乳室）やキッズスペースを1階に設置します
- 優先トイレを各階に設置します
- 高齢者や車いす、ベビーカーを利用する人が安全に庁舎内を移動できるようにバリアフリーを徹底します。また、視覚に障がいのある人が安全に移動できるように誘導ブロックの設置などを行います

- 入口に近接して、高齢者、車いすを利用している人、妊産婦、乳幼児連れの人などが利用できる専用駐車場を設置します
- 市役所へのアクセスの利便性向上を図るため、路線バスの停留所を敷地内へ設置します
- エレベーターを3基設置します。うち1基は緊急搬送時、ストレッチャーによる患者輸送が可能なサイズとします。また、車いすが回転できる十分な広さを確保します



優先トイレイメージ

キッズスペースイメージ

ベビールーム（授乳室）イメージ

- 防災拠点施設として、業務継続性を高めるため、自立した設備などの確保を図るとともに、敷地全体を活用した災害対応や、一時避難場所としての機能を有する安心・安全な施設として整備します
- 車庫棟地下に250トンの水を確保し、災害時でもトイレの利用が可能となるほか、車庫内に5カ所マンホールトイレを設置します
- 168時間の連続運転可能な非常用発電設備などを導入し、災害時（停電時）は、災害対策関係室および一時避難スペースなどへ電力を供給します ※燃料備蓄は72時間となります

最終回「新市庁舎建設に取り組んでいます ～フロントプロジェクト2～」は8月15日号に掲載します

問い合わせ 市資産管理課 新市庁舎建設推進室 ☎27-8416



新市庁舎イメージ

新しい市庁舎は、震災から得られた教訓を生かし、防災拠点施設としての機能を重視し、まちづくりの拠点として市民が利用しやすい安心・安全な庁舎として、令和5年度の開庁を目指しています。

◆新市庁舎の基本理念と4つの基本方針

基本理念

『復興のシンボルとして釜石らしいまちづくりの拠点となる庁舎』

基本方針

- ◎市民に開かれ利用しやすい庁舎
- ◎まちづくりの拠点となる庁舎
- ◎機能的で安全な庁舎
- ◎震災から得られた教訓を生かし、防災拠点としての機能を重視した庁舎

◆敷地概要

計 画 地	釜石市天神町33番1	地 域 地 区 等	準防火地域
住 居 表 示	釜石市天神町5番20号	敷 地 面 積	1万1,757.92平方メートル
用 途 地 域	近隣商業地域	日 影 規 制	無指定

◆建築計画概要

	新庁舎棟	車庫棟
階 数	地上4階 地下なし	地上2階 地下なし
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造	鉄筋コンクリート造
延 床 面 積	8,007.59平方メートル	748.60平方メートル
建 築 面 積	3,167.41平方メートル	
駐 車 場	112台（多目的駐車場3台含む）	